

ユーザーの声から見えてきた、働き方改革の新事実

リモートワークの成否を分かつ “3つのポイント”とは？



日本企業のリモートワークが活性化しない要因とは？

——日本は「テレワークに向かない国」。時折このような記事や報道を見かけますが、実は日本企業の実態に近いのかもしれません。

Slack社がリモートで働くナレッジワーカー（知識労働者）4,700人に対して行った調査*1によると、日本企業に勤める従業員の回答は、世界各国の企業に勤める従業員の回答と比較して、次の2つのスコアが明らかに低いとわかりました。

① 仕事における帰属感：

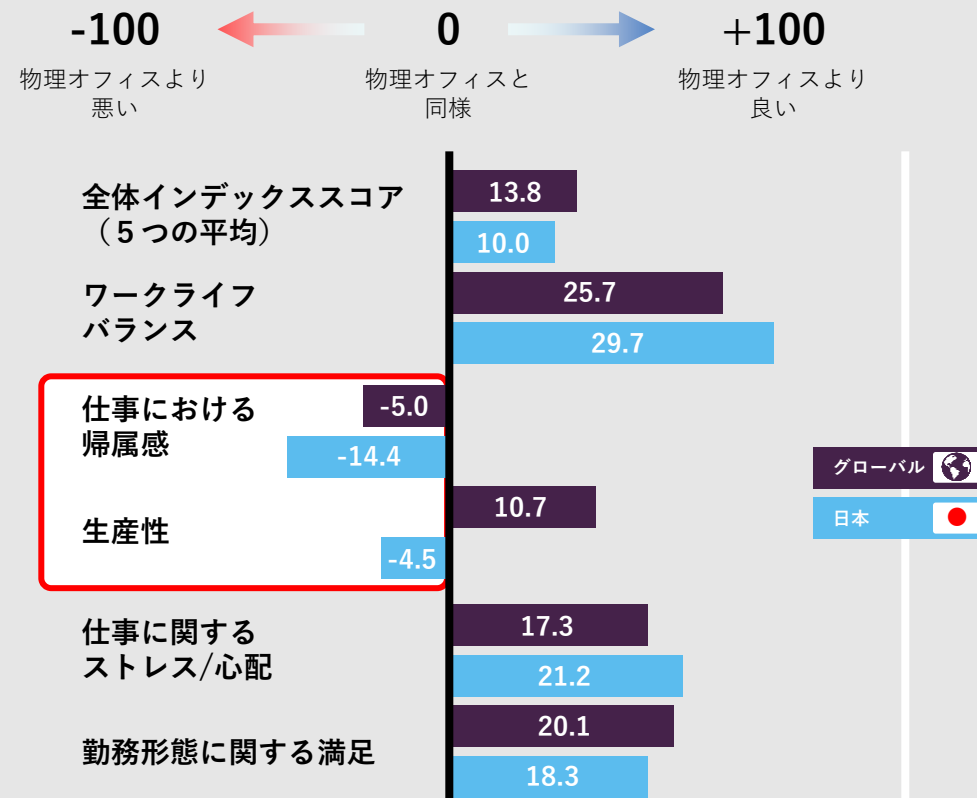
ナレッジワーカー（知識労働者）がチームのメンバーに受け入れられ評価されていると感じているかを表す尺度

② 生産性：

タスクを効率的に実行しながら質の高い仕事をする能力

“かつての日常が戻らない”と言われる今、リモートワークの実践は避けることのできない命題です。その中で、仕事における帰属感の低下・生産性の低下が引き起こされていることは、多くの日本企業に共通した課題といえます。

日本企業が抱えるリモートワークの課題



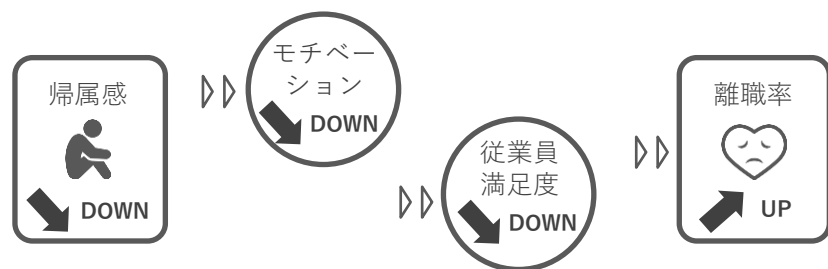
出典：「リモートでの従業員体験レポート 2020年第3四半期」Global n=4746
Q.以下についての在宅勤務をオフィス勤務と比較してお答えください。

「帰属感の低下」「生産性の低下」は何を招くのか？

日本企業が抱えるリモートワークの課題は、組織や従業員に対してどのようなマイナス面をもたらすのでしょうか？法人向けソフトウェア・クラウドサービスのレビューサイト「ITreview」では、様々なツールの導入前に各ユーザーが抱えていた課題も書かれています。その一部を合わせてみてみましょう。

「帰属感の低下」が招くこと

「帰属感の低下」は、仕事へのモチベーションの低下や従業員満足度（ES）の低下を招き、離職率の上昇につながる恐れがあります。テレワークを導入している企業では、次のようなコメントも見受けられます。



リモートワークを実施する企業の声

ITreview 掲載レビューより抜粋

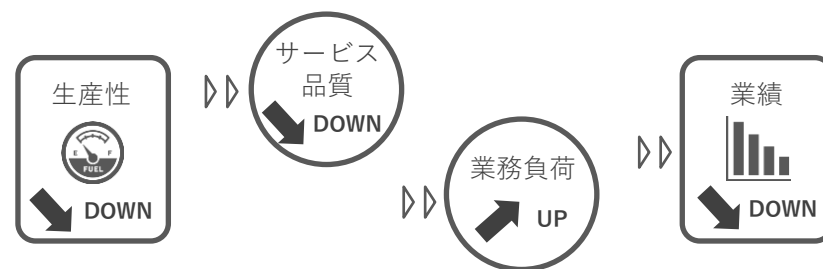


“ リモートワーク下でチーム内の対面コミュニケーションが減り、なかなか**お互いの考えが理解できなくなり、チーム内の雰囲気が悪く、プロジェクト進捗も遅延**したときがありました。

”

「生産性の低下」が招くこと

「生産性の低下」は、従業員の業務負荷増大やサービス品質の低下を招き、企業の業績悪化につながる恐れがあります。テレワークを導入している企業では、次のような状況も生まれています。



リモートワークを実施する企業の声

ITreview 掲載レビューより抜粋



“ 電話だと連絡するタイミングや時間に縛られたり、メールだと**ちょっとした報連相に手間や無駄な前置きの文章が必要**だったり・・・

”

「リモートワークの活性化」実現に向けた“3つのポイント”

では、リモートワーク活性化の実現には、どのような打ち手が有効なのでしょう。ここで注目したいのが、「ITreview」で1000件以上の口コミを集めたコラボレーションツール『Slack』。コミュニケーションやコラボレーションを加速できることに加え、連携機能により複数アプリをSlack上に一元化することで、業務の生産性向上に寄与する点が評価されています。また、国際的なセキュリティ基準も満たしており、企業規模問わず活用できる点もポイント。帰属感や生産性を高めるための打ち手として支持されています。

『Slack』に寄せられた口コミからリモートワーク活性化の秘訣を紐解くならば、次の“3つのポイント”が鍵になると言えるでしょう。

1

コラボレーションを
「チャンネルベース」で実践せよ



Channel-Based

互いが離れて仕事をする環境では、トピックやチーム別に話題を整理し、手軽にコラボレーションできる場づくりが求められます

2

アプリ連携が可能な
「プラットフォーム」を用意せよ



Platform

クラウドの活用が不可欠な時だからこそ複数のツールをワンクリックで呼び出せるプラットフォームの整備が重要です

3

エンタープライズ企業に求められる
「セキュリティレベル」を確保せよ



High-Security

様々な情報をやり取りするからこそ、メッセージの暗号化はもちろん、業界標準のセキュリティ規格への準拠が欠かせません

次のページからは『Slack』の口コミに照らしながら、3つのポイントの具体的な中身を見ていきます。

1つ目は、「コラボレーション」の場の確保。リモートワークをしていると、オフィスにいるときのように気軽に周囲に話しかけることができません。だからこそ、空き時間などに手間をかけず、「チャンネル」というテーマ別にやりとりが進められる整った環境で気軽に情報交換できる場づくりが大切です。Slackの口コミからは、コミュニケーションの円滑化に繋がっている様子が見て取れます。

Pickup!



その他専門職
ユーザー（利用者）
その他小売・卸売
1000人以上



細かな部分で使いやすい

会社の都合上、様々なチャットツールが入り乱れた環境で業務をしています。他のチャットツールは複数のグループを作成する場合に細かく分けるのが難しかったりしますが、Slackはワークスペースやチャンネルなど細かく分割出来るため企業間や部署間などのグループを分ける際に管理がしやすいです。

<https://www.itreview.jp/products/slack/reviews/52877>

Pickup!



宣伝・マーケティング
ユーザー（利用者）
精密機械
300-1000人未満



簡単にチャットとデータ共有が可能

（この製品・サービスの良いポイントは）
堅苦しい定型メール文等を入力せずともチャットで情報交換ができるようになった点です。また、チーム内での必要なデータ交換も、チャンネル内でデータ共有が可能です。

<https://www.itreview.jp/products/slack/reviews/60435>

Pickup!



宣伝・マーケティング
ユーザー（利用者）
ソフトウェア・SI
1000人以上



業務スピード(特に意思決定)の迅速化

リモートワーク下でチーム内の対面コミュニケーションが減り、なかなかお互いの考えが理解できなくなり、チーム内の雰囲気が悪く、プロジェクト進捗も遅延したときがありました。Slackの積極活用により、リモートワークでもチーム内の意志の共有は手軽になり、全体の生産性が向上したと思います。

<https://www.itreview.jp/products/slack/reviews/57877>

2つ目は、さまざまなクラウドツールや自社システムをひとつに連携させること。リモートワークでは、Web会議ツールやオンラインストレージ、タスク管理ツール…等々、用途やシーンに応じてツールの使い分けが求められます。だからこそ、それらのツールを一元管理するプラットフォームが生産性向上に大きな影響を及ぼします。

Pickup!



プロジェクトマネージャ
導入決定者
ソフトウェア・SI
300-1000人未満



他のアプリやサービスと
連携できるのが最大のメリット

会社内、組織内、チーム内、顧客間との
コラボレーションにとどまらずツール間
やサービス間のコラボレーションとして
中心的なHUB的な役割を持たせることが
出来ることにメリットを感じました。

<https://www.itreview.jp/products/slack/reviews/726>

Pickup!



営業・販売・サービス職
ユーザー（利用者）
電気・電子機器
1000人以上



とにかく情報共有の
スピードが上がった！！

情報共有スピードの向上が一番のメリッ
トです。単なる業務連絡からプロジェク
トでのミーティングまで、あらゆる分野
での利用をお勧めします。

<https://www.itreview.jp/products/slack/reviews/6289>

Pickup!



営業・販売・サービス職
ユーザー（利用者）
ソフトウェア・SI
1000人以上



全社のコミュニケーションが
統一されて便利になりました

外部システムとの連携を自由に作れるポ
イントが素晴らしいです。営業部門とし
てSFAツールと連携させていますが、
WEB問い合わせの自動通知やタスクのリ
マインドなどをシステムにやらせること
で大きなメリットを感じています。

<https://www.itreview.jp/products/slack/reviews/58112>

3つ目は、要件の厳しいエンタープライズの利用にも耐えうるレベルの「安全性の確保」です。リモートワークでは各人が利用するネットワークのセキュリティレベルが異なるからこそ、アプリケーションごとに十分なセキュリティ対策を行うことが必要です。Slackでは全ての保存データと送受信データが暗号化されており、安心感という点でも多くのユーザーから定評を得ています。

Pickup!



その他情報システム関連職
ユーザー（利用者）
ソフトウェア・SI
1000人以上



応用範囲が広いSlack

メッセージのやり取りだけでなく、Slack Call 機能で、そのままWeb会議ができたり、投稿したメッセージやファイルに対し、2FA,SSO等の機能を利用し、細かなセキュリティレベルの設定ができることで、特定のメンバーでのシェアを目的に活用することもでき、とても完成された製品であり、おすすめできます。

<https://www.itreview.jp/products/slack/reviews/45966>

Pickup!



その他専門職
ユーザー（利用者）
情報通信・インターネット
100-300人未満



コミュニケーションツールとして 幅広く活躍

単独のコミュニケーションツールとしてだけでなく、チャンネル分け、ファイル共有、通話など様々な機能が使用できる。また、招待や初回ログイン時のセキュリティについても他のコミュニケーションツールよりも優れていると感じます。

<https://www.itreview.jp/products/slack/reviews/42126>

Pickup!



営業・販売・サービス職
ユーザー（利用者）
広告・販促
100-300人未満



チームでの制作作業が早い

チャット形式でやりとりができるので、レスポンスが早く、作業効率をあげることができます。また、セキュリティ面も安心できるので、資料のやりとりなども可能です。

<https://www.itreview.jp/products/slack/reviews/25473>

組織やチームへの帰属性を高め、生産性を向上させる『Slack』

今回、レビューをご紹介したメッセージプラットフォーム『Slack』は、リモートワーク活性化のための打ち手として、数多くの企業で活用されています。リモートワーク中でチーム内の対面コミュニケーションが難しい場合でも、堅苦しい文章抜きでやり取りが可能。テーマ別の「チャンネル」でお互いの意思疎通を円滑化することで、組織・チームへの帰属性向上に寄与します。また、セキュアな環境でさまざまなアプリとの連携を一元化するプラットフォームとして、生産性向上にも貢献します。



Channel-Based

プロジェクト、トピックやチーム別にチャンネルを作成すれば、わかりやすく整理された環境で気軽なコラボレーションを行うことができます。



Platform

Slackの画面上からビデオ通話への参加、ファイルの共同編集、カレンダーの管理が可能。リモートワークの生産性を向上させます

自社システムとのAPI連携も！



High-Security

Slackでは、情報セキュリティ管理システム（ISMS）を始めとする様々な認証を取得しているほか、イギリスの国家サイバーセキュリティセンター（NCSC）のクラウドセキュリティ原則にも対応。大手企業でも安心してご利用いただけます。



ビジネスを前進させるコラボレーションツール

Slack [Slack Japan 株式会社]

★★★★☆ 4.0

1077

Slack について知りたいことがあれば、何でもお問い合わせください。

- ✓ チームの仕事の生産性を高めるには？
- ✓ 料金プランを知りたい
- ✓ 同じ業界の導入事例を見たい

<https://slack.com/intl/ja-jp/contact-sales>